



「フィンテックセミナー」を開催

～ 情報通信技術が切り開く金融の新たな地平と産業・経済・暮らしへのインパクト～

総務省北陸総合通信局（局長 吉武 久）は、平成29年5月16日（火）、金沢東急ホテルにおいて「フィンテックセミナー」を開催しました。セミナーには、金融機関、通信業者、ITベンダーなどから約150名が参加しました。

冒頭、日本銀行の小澤 浩太郎金沢支店長が「近年、フィンテックへの注目が一段と高まっているが、これを発展させ経済全体で幅広いメリットを享受するためには、業界の垣根を超えた活発な議論やコミュニケーションが極めて重要である。」と挨拶しました。

セミナーでは、4名が登壇し講演を行いました。（セミナーの概要は右上）

慶應義塾大学の斉藤上席所員は、フィンテックの基礎技術であるブロックチェーンは公共財を公正に扱うことができ、将来的には貨幣の役割が低下し、貨幣を必要としない「融通」が重要となる社会への可能性を示しました。

日本銀行の河合FinTechセンター長は、「情報処理のコスト低下、データの蓄積、モバイル機器の普及などにより、新しい金融サービスが生まれているが、FinTechを利用することが目的なのではなく、「課題」があればTechを利用する意味がある。」と述べ、「課題」の定義がはっきりしていれば、FinTechで解決される可能性があることを示唆しました。

株式会社北國銀行の杖村代表取締役専務は、同行が生産性向上のために取り組んできたペーパーレス化による働き方改革を紹介し、今後は地域の生産性向上のために顧客のニーズにあったITを駆使した「金融サービス」を提供し、地域経済の活性化への役割を果たしていきたいと述べました。

株式会社インテックの中川プリンシパルは、デジタル戦略を推進しているインドと中国のアリババの決済プラットフォームを構築しているAlipayを紹介。「貨幣」のデジタル化と「信用」のデジタル化が進めば、“What you have”から“Who you are”といった個人の「信用」に基づくサービスへの拡大が進み、新たな経済モデルの実現の可能性について言及しました。



日本銀行 小澤 浩太郎 氏

● フィンテックセミナーの概要 ●

- ◆講演1 「フィンテックの動向と今後の展開
～ ブロックチェーンの市場応用と可能性～」
講師：慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員 斉藤 賢爾 氏
- ◆講演2 「FinTechが描く未来」
講師：日本銀行 決済機構局 審議役・FinTechセンター長 河合 祐子 氏
- ◆講演3 「北國銀行の働き方改革とフィンテックへの取組」
講師：株式会社北國銀行 代表取締役専務 杖村 修司 氏
- ◆講演4 「FinTechの最新動向から読み解く将来像
～ 浸透する「デジタル変革」がもたらす世界～」
講師：株式会社インテック プリンシパル 中川 郁夫 氏
- ◆パネルディスカッション
コーディネーター：鈴木 博竹 氏
(株式会社日本政策投資銀行 北陸支店長)
パネリスト：上記講師4名

パネルディスカッション(写真左)では、株式会社日本政策投資銀行の鈴木北陸支店長をコーディネーターに迎え、フィンテックがこれからの日本や北陸の経済、産業、働き方、暮らしにどのような影響を与えるかをテーマとして、登壇いただいた4名の方々の知見が披露されました。

最後に、吉武北陸総合通信局長が、「金融が最新の情報通信技術を取り込むことで新たな時代を迎えつつある。本セミナーがその未来を実現すべく参加された皆様の一助となれば幸いです。」と挨拶しセミナーを締めくくりました。



左から 日本政策投資銀行 鈴木 氏
慶應義塾大学 斉藤 氏
日本銀行 河合 氏
北國銀行 杖村 氏
インテック 中川 氏